

## 御礼

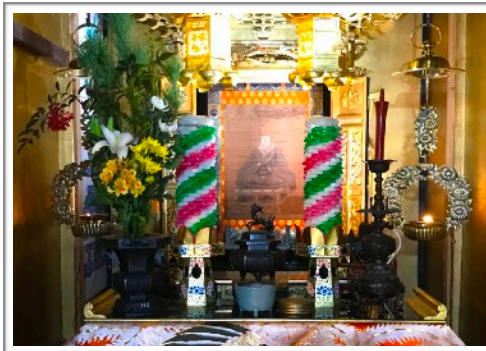
旧年12月17日の「若院結婚門徒披露」、そして1月15～17日には「御正忌報恩講」が勤まりました。皆様におかれましては、多くのご尽力、並びに御参拝を賜りました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。暦の上では春を迎えますが、厳しい寒さが本番を迎えます。どうぞご自愛下さいませ。

## 御正忌報恩講を終えて

初日15日には、親鸞聖人の生涯が描かれた「御伝鈔」の拝読、15、16日御法話の御講師は、井上浄英師にご縁を賜りました。「ご息女様の迷子」「悪天候の中お取次に向かわれた五島列島への道中」のお話等、実体験を踏まえ「心変わりが絶えない私の有り様、そんな私を照らして下さる阿弥陀さまのお呼び声『南无阿弥陀仏』はお浄土へ向かう感謝の日暮しをお示し下さる」とあたたかくお取次下さいました。17日には住職、若院の親子での法話の御縁を頂戴しました。お齋をご用意下さった皆様、清掃、幕張り、お華束準備、片付けにご尽力頂いた皆様、お寒い中お越し下さった皆様、本当に有難うございました。



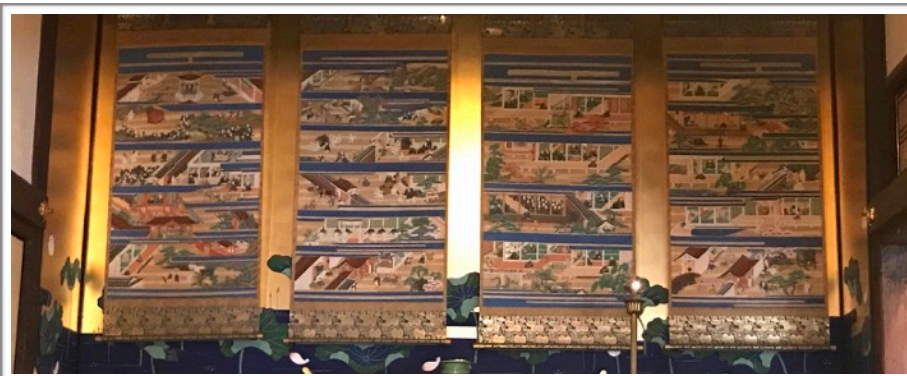
お華束（おけそく）の準備



親鸞聖人御影のお飾り



手作りのお齋（おとき）



親鸞聖人生涯を表した御絵伝（ごえでん）



御講師の井上浄英先生

## === コラム「お取越って？」 ===

「お取越」とは、浄土真宗のみ教えをお伝え下さった親鸞聖人の御命日（1月16日）に聖人への感謝を示すと共に、ご自宅のご仏壇を繋いで下さったご先祖様にも感謝を示す「ご自宅での報恩講」です。元々はお寺の報恩講に重ならないよう繰り上げて行う（取り越す）という意より、「お取越」と呼ばれます。地域によっては、「在家報恩講」「お引上報恩講」とお呼びする地域もあります。毎年行われている習慣に目を向けてみると新たな発見がありますね。各ご自宅、親鸞聖人が示された「お正信偈」が響き渡る「お取越」でした。

## 今後の予定

2月20日（火）永代教法要  
昼座13時～（お齋11時半～）  
夜座19時～  
御講師:常法寺住職 佐々木高彰師  
※昨年お配りした年間予定表とは日程が異なっております。  
3月17日（土）春季彼岸会法要  
（仏教婦人会主催）11時～  
御講師:教念寺住職 小山坦道師